

日口蓋誌 35 (2) : 41 頁, 2010.

- 47) Rahaman F, Harada F, Saito I, Maeda T: Localization of acid sensing ion channel 3 in the periodontal Ruffini endings, 第 43 回新潟歯学会総会, 新潟, 2010 年 4 月 17 日, 新潟歯学会雑誌 40(1): 96 頁, 2010.

#### 【研究会発表】

- 1) 高辻華子, 北川純一, Zakir H, Mostageezur R, 山田好秋, 齋藤 功, 山村健介: ヒト咽頭領域への電気および味覚同時刺激による嚥下誘発効果. 第四回三叉神経領域の感覚—運動統合機能研究会, 大阪, 2010 年 11 月 27 ~ 28 日.
- 2) 森田修一: 矯正治療終了後における長期的変化—下顎前歯部の変化について—. 第 32 回与五沢矯正研究会, 門司, 2010 年 4 月 19 日.
- 3) 竹山雅規: 矯正治療後の長期経過についての文献レビュー. 第 32 回与五沢矯正研究会, 門司, 2010 年 4 月 19 日.

#### 【受賞】

- 1) 篠倉千恵, 福井忠雄, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における嚥下時筋活動様式の特徴. 平成 22 年度日本顎変形症学会 学会賞, 平成 23 年 2 月 8 日.

#### 【その他】

- 1) 齋藤 功: (3) 臨床系歯学を専攻する学生のために冊子を作成. 「平成 22 年度・大学院教育改革支援プログラム・プロジェクト所属による大学院教育の実質化報告書」87 頁, 2011.
- 2) 齋藤 功: 6. 教職員スキルアップのための FD の開催および国内研修 (1) ~ (5). 「平成 22 年度・大学院教育改革支援プログラム・プロジェクト所属による大学院教育の実質化報告書」89-110 頁, 2011.
- 3) 八巻正樹, 焼田裕里, 齋藤 功: 矯正用インプラントアンカー (仮称) の現況について. 新潟歯学会雑誌 40 (2) : 66-67 頁, 2010.
- 4) 齋藤 功: 成人矯正治療の実践. 東京医科歯科大学大学院特別講義, 東京, 2010 年 9 月 6 日.

### 小児歯科学分野

#### 【論文】

- 1) Tokutomi J, Hayasaki H, Saitoh I, Iwase Y, Fukami A, Yamada C, Takemoto Y, Inada E, Yamasaki Y: Mandibular open-close motion in children with anterior crossbite occlusion. *Journal of Craniomandibular Practice*, 28 (1) : 10-18, 2010.

- 2) Kubota N, Hayasaki H, Saitoh I, Iwase Y, Maruyama T, Inada E, Hasegawa H, Yamada C, Takemoto T, Matsumoto Y, Yamasaki Y: Jaw Motion during Gum Chewing in Children with Primary Dentition. *Journal of Craniomandibular Practice*, 28 (1) : 18-29, 2010.
- 3) Saitoh I, Yamada C, Hayasaki H, Maruyama T, Iwase Y, Yamasaki Y: Is The Reverse Cycle during Chewing Abnormal in Children with Primary Dentition? *Journal of Oral Rehabilitation*, 37 (1) : 26-33, 2010.
- 4) Fukami A, Saitoh I, Iwase Y, Oku T, Inada E, Takemoto Y, Yamada C, Iwasaki T, Hasegawa H, Kubota K, Murakami M, Harada K, Nishi M, Kinjo S, Igata N, Hayasaki H, Yamasaki Y: Development of Labial-Closure Strength in Preschool Children. *Journal of Craniomandibular Practice*, 28 (4): 232-237, 2010.
- 5) Takemoto T, Saitoh I, Iwasaki T, Inada E, Yamada C, Iwase Y, Shinkai M, Kanomi R, Hayasaki H, Yamasaki Y: Pharyngeal Airway in Children with Prognathism and Normal Occlusion. *The Angle Orthodontist*, 81 (1) :77-82, 2011.
- 6) Kuroda K, Saitoh I, Inada E, Takemoto Y, Iwasaki T, Iwase Y, Yamada C, Shinkai M, Matsumoto Y, Hasegawa H, Yamasaki Y, Hayasaki H: Head Motion May Help Mouth Opening in Children. *Archives of Oral Biology*, 56 (1) :102-107, 2011.
- 7) Iwasaki T, Saitoh I, Takemoto Y, Inada E, Kanomi R, Hayasaki H, Yamasaki Y: Evaluation of upper airway obstruction in Class II children using fluid-mechanical simulation. *American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics (In press)*.
- 8) Hasegawa H, Saitoh I, Nakakura-Ohshima K, Shigeta K, Yoshihara T, Suenaga S, Matsumoto Y, Inada E, Yamasaki Y: Condyle Shape in Relation to Anterior Disk Displacement in young adolescence. *Journal of Craniomandibular Practice*, (In press).
- 9) Ishikawa Y, Ida-Yonemochi H, Suzuki H, Nakakura-Ohshima K, Jung HS, Honda MJ, Ishii Y, Watanabe N, Ohshima H : Mapping of BrdU label-retaining dental pulp cells in growing teeth and their regenerative capacity after injuries. *Histochem Cell Biol*, 134:227-41, 2010.
- 11) Kawasaki K, Matsuyama J, Taguchi Y, Mitomi T: Cross-sectional analysis of age-related changes in

the fluctuation of bite size. Ped Dent J 20 (1) 22-27,2010.

- 12) Hayashi-Sakai S, Maruyama Y, Taguchi, Y: Horizontal impaction of bilateral mandibular second premolars with distal inclination: a case report. Pediatric Dental Journal 2010, 20 (2), 196-200, 2010.
- 13) Thaweboon B, Laohapand P, Amornchat C, Matsuyama J, Sato T, Nunez PP, Uematsu H and Hoshino E: Host  $\beta$ -globin-gene fragments of crevicular fluid as a biomarker in periodontal health and disease. J Periodontal Res 45 (1) : 38-44, 2010.
- 14) 一般社団法人 日本小児歯科学会学術委員会, 山崎要一, 岩崎智憲, 早崎治明, 齊藤一誠, 徳富順子, 八若保孝, 井上美津子, 朝田芳信, 田村康夫, 嘉ノ海龍三, 牧 憲司, 吉原俊博, 船津敬弘, 手島陽子, 上里千夏, 山下一恵, 井出正道, 栗山千裕, 近藤亜子, 嘉藤幹夫, 渡邊京子, 藤田優子, 長谷川大子, 稲田絵美: 日本人小児の永久歯先天性欠如に関する疫学調査. 小児歯科学雑誌, 48 (1) : 29-39, 2010.
- 15) 竹内優美子, 松山順子, 川崎勝盛, 三富智恵, 佐野富子, 田口 洋: 小児の前歯部交換期における一口量に関する研究. 新潟歯学会誌 40 (2) :15-20,2010.
- 16) 小林英樹, 松山順子, 三富智恵, 佐野富子, 川崎勝盛, 田口 洋: 学校給食による咀嚼パラメーターの比較検討 一麺類, 米飯類, パン類の相違点について一. 小児歯誌 48 (3) :388-396, 2010.
- 17) 南部友貴, 佐野富子, 田口 洋, 富沢美恵子: レストレイナーの使用状況による小児患者の歯科診療に対する適応性の変化. 新潟歯学会誌, 40 (2) :49-56,2010.

#### 【商業誌】

- 1) 早崎治明, 大島邦子, 齊藤一誠, 稲田絵美, 山崎要一: 【乳歯冠を再考する】乳歯冠の海外事情 審美性に配慮した乳歯冠を中心として. 小児歯科臨床 16(2) : 41-44, 2011.
- 2) 山崎要一, 岩崎智憲, 齊藤一誠, 早崎治明. ミニ特集企画「知っておきたい小児歯科」(編者 渡部 茂), 4. 歯ならび・噛み合わせの異常と口腔機能, 小児科臨床, 63 (11) :2253-2262, 2010.
- 3) 早崎治明, 大島邦子, 齊藤一誠, 稲田絵美, 山崎要一: 乳歯冠を再考する 乳歯冠の海外事情 - 審美性に配慮した乳歯冠を中心として -, 東京臨床出版, 小児歯科臨床 16 (2) : 41-44, 2011.
- 4) 松山順子, 小林英樹, 田口 洋, 早崎治明: 学校給食における主食(麺類, 米飯類, パン類)の検討-

観察研究とアンケート調査の結果から-. 新潟食生活・栄養学会雑誌, 2010.

#### 【学会発表】

- 1) Saitoh I, Iwase Y, Inada E, Nakakura-Ohshima K, Takemoto Y, Iwasaki T, Yamada C, Hayasaki H, Yamasaki Y: Occlusal Contacts during Chewing in Children with Primary Dentition. IADR/AADR/CADR 89th General Session and Exhibition, San Diego, U.S.A., 2011.3
- 2) Inada E, Saitoh I, Nakakura-Ohshima K, Maruyama T, Maruyama T, Takemoto Y, Shinkai M, Hayasaki H and Yamasaki Y: Concomitant Head and Mandibular Movement during Realistic Eating. IADR, SanDiego, 14-18 March, 2011.
- 3) Saitoh I, Iwase Y, Inada E, Nakakura-Ohshima K, Takemoto Y, Iwasaki T, Yamada C, Hayasaki H and Yamasaki Y: Occlusal contacts during chewing in children with primary dentition. IADR, SanDiego, 14-18 March, 2011.
- 4) 岩崎智憲, 早崎治明, 嘉ノ海龍三, 武元嘉彦, 齊藤一誠, 松根彰志, 黒野祐一, 山崎要一: 上気道流体シミュレーションを用いた小児閉塞性睡眠時無呼吸症候群の通気障害部位の特定方法について, 第48回日本小児歯科学会大会, 名古屋, 2010年5月19-20日.
- 5) 徳富順子, 岩崎智憲, 早崎治明, 山崎要一: 低位乳臼歯による歯列咬合異常への対応, 第48回日本小児歯科学会大会, 名古屋, 2010年5月19-20日.
- 6) 新海みゆき, 稲田絵美, 齊藤一誠, 深水 篤, 窪田直子, 武元嘉彦, 岩崎智憲, 長谷川大子, 徳富順子, 佐藤秀夫, 早崎治明, 山崎要一: 顎顔面表面形状の男女成長量に関する横断的研究, 第28回日本小児歯科学会九州地方会大会, 福岡, 2010年10月3日.
- 7) 岩崎智憲, 齊藤一誠, 武元嘉彦, 嘉ノ海龍三, 早崎治明, 山崎要一: 上顎急速拡大前後の鼻腔通気状態に関する流体シミュレーション評価, 第69回日本矯正歯科学会, 横浜, 2010年9月27-29日. (大会優秀発表賞 受賞)
- 8) 金城奈津子, 大島邦子, 織田公光, 早崎治明: 歯限局型低フォスファターゼ症で報告された変異型組織非特異型アルカリフォスファターゼの解析, 平成22年度日本小児歯科学会秋季大会, 郡山, 2010年12月2日-3日, 小児歯誌 48 (5) : 576, 2010.
- 9) 當摩紗衣, 大島邦子, 早崎治明, 富沢美恵子: 青年期自閉症者に対する歯磨き支援-視覚支援ツールの応用-. 平成22年度日本小児歯科学会秋季大会, 郡山, 2010年12月2日-3日, 小児歯誌 48 (5) :

633, 2010.

- 10) 早崎治明, 松山順子, 佐野富子, 林-坂井幸子, 沼奈津子, 大島邦子: Evidence Based Dentistry in Pediatric Dentistry (1) 診療ガイドラインについて. 第28回日本小児歯科学会北日本地方会大会, 郡山, 2010年12月3日, 小児歯誌 49 (1): 66, 2010.
- 11) 大島邦子, 三富智恵, 河野承子, 飯澤二葉子, 川崎勝盛, 早崎治明: Evidence Based Dentistry in Pediatric Dentistry (2) 乳歯用既成冠. 第28回日本小児歯科学会北日本地方会大会, 郡山, 2010年12月3日, 小児歯誌 49 (1): 66-67, 2010.
- 12) 富沢美恵子, 佐野富子, 當摩紗衣, 南部友貴, 鈴木昭: 被虐待児のセルフ・エスティームと歯科的介入の効果. 平成22年度日本小児歯科学会秋季大会, 郡山, 2010年12月2日-3日, 小児歯誌 48 (5): 641, 2010.
- 13) 三富智恵, 河野芳朗, 河野承子, 田口 洋: 抗腫瘍薬がラット臼歯歯根形成に及ぼす影響. 第48回日本小児歯科学会大会, 名古屋, 2010年5月19日-20日 小児歯誌 48 (2): 246, 2010.
- 14) 河野承子, 河野芳朗, 三富智恵, 田口 洋: 実験的外傷歯の歯周組織におけるAQP1陽性細胞の動態. 第48回日本小児歯科学会大会, 名古屋, 2010年5月19日20日 小児歯誌, 48 (2): 338, 2010.
- 15) 三富智恵, 河野芳朗, 河野承子, 田口 洋, 早崎治明, 前田健康: アルカリ化抗腫瘍薬がラット歯根形成に及ぼす影響. 第52回基礎歯科医学会学術大会・総会, 船堀, 2010年9月21日22日 J.Oral Biosciences 52:151, 2010.
- 16) 河野承子, 河野芳朗, 三富智恵, 田口 洋, 早崎治明, 前田健康: 実験的咬合性外傷における歯周組織破壊・変化に伴うアブホリン1発現の変化. 第52回基礎歯科医学会学術大会・総会, 船堀, 2010年9月21日22日 J.Oral Biosciences 52:148, 2010.
- 17) 大島邦子, 三富智恵, 河野承子, 飯澤二葉子, 川崎勝盛, 早崎治明: Evidence Based Dentistry in Pediatric Dentistry. 第28回日本小児歯科学会北日本地方会大会および総会, 郡山, 2010年12月3日 小児歯誌 49 (1): 66-67, 2011.
- 18) 林-坂井幸子, 田口洋, 飯澤二葉子, 金城奈津子: 下顎両側第二小臼歯の水平埋伏を認めた1例. 第48回日本小児歯科学会大会, 名古屋, 2010年5月19日-20日, 小児歯誌 49 (2): 319, 2010.
- 19) 田口 洋, 林-坂井幸子, 飯澤二葉子, 村山直子, 小林博昭: 上顎側切歯の形成遅延による隣接歯の萌出障害. 第48回日本小児歯科学会大会, 名古屋, 2010年5月19日-20日, 小児歯誌 49 (2): 249, 2010

#### 【研究会発表】

- 1) 大島邦子: 新潟大学医歯学総合病院における障害者歯科の取り組み. 第1回北信越障害者歯科臨床研究会, 新潟, 2010年6月27日.
- 2) 岩崎智恵, 齊藤一誠, 早崎治明, 山崎要一: 閉塞性睡眠時無呼吸症候群への上気道流体シミュレーションの臨床応用. 第27回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」, 東京, 2011年1月8日.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) 山崎要一, 早崎治明: 健康な小児における成長発育期の下顎運動に関する文献的考察, シンポジウム「顎口腔機能評価のガイドライン」, 日本顎口腔機能学会 第44回学術大会, 広島, 2010年4月24-25
- 2) 岩崎智恵, 齊藤一誠, 早崎治明, 山崎要一: CBCTを応用した3次元気道構築と流体シミュレーションによる通気機能病態診断の試み, 日本歯科医学会プロジェクト研究「歯科用CTを用いた歯科画像診断の新たな展開に関するプロジェクト研究」「歯科診療における歯科用コーンビームCTの基礎的・臨床的研究」に関わるシンポジウム, 東京, 2010年8月28日.

#### 【受賞】

- 1) 岩崎智恵, 齊藤一誠, 武元嘉彦, 嘉ノ海龍三, 早崎治明, 山崎要一: 上顎急速拡大前後の鼻腔通気状態に関する流体シミュレーション評価, 第69回日本矯正歯科学会, 横浜, 2010年9月27-29日. (大会優秀発表賞 受賞)

#### 【研究費獲得】

- 1) 早崎治明, 山崎要一, 齊藤一誠, 岩崎智恵, 長谷川大子: 仮説: 歯列咬合状態から捕食動作は推察できる. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C) 22592291, 2010.
- 2) 山崎要一, 岩崎智恵, 早崎治明: 流体シミュレーション技法による3次元管腔気道携帯の通気機能と顎咬合状態の関連評価. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(B) 22390392, 2010.
- 3) 岩崎智恵, 山崎要一, 早崎治明: 流体シミュレーションによる小児OSASの通気障害部位の特定と治療予測モデルの構築. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C) 22592292, 2010.
- 4) 大島邦子, 三富智恵, 大島勇人: 歯の他家移植治療法の基盤となる歯根膜細胞の分化誘導法の確立. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C) 20592394, 2010年.

- 5) 大島邦子：近交系マウス歯胚他家移植実験を用いた歯髄分化メカニズムの解明. H 22 年度新潟大学プロジェクト推進経費.
- 6) 松山順子：初期齲蝕に着目した歯垢バイオフィルムの細菌動態の解析と指標化. 平成 22 年度新潟大学プロジェクト推進経費.
- 7) 松山順子, 竹中彰治, 佐藤拓一：歯垢バイオフィルムの細菌動態に着目した初期齲蝕モニタリングシステム. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 22592330, 2010 年.
- 8) 松山順子：初期齲蝕に着目した歯垢バイオフィルムの細菌動態の解析と指標化. 平成 22 年度新潟大学プロジェクト推進経費.
- 10) 佐藤拓一, 島内英俊, 高橋信博, 八巻恵子, 真柳弦, 松山順子：歯内療法にフィードバック可能な、新たな感染根管微生物学的評価法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 20592220, 2010 年
- 11) 田口洋, 坂井幸子 (林幸子), 松山順子：小児の萌出障害に対する EBM に基づいた包括的治療指針策定に関する研究. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 20592395, 2010 年
- 12) 松山順子, 竹中彰治, 佐藤拓一：歯垢バイオフィルムの細菌動態に着目した初期齲蝕モニタリングシステム. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 22592330, 2010 年.
- 13) 松山順子：初期齲蝕に着目した歯垢バイオフィルムの細菌動態の解析と指標化. 平成 22 年度新潟大学プロジェクト推進経費.
- 14) 松山順子：科学研究費補助金応募支援プログラム, 借敗プログラム.
- 15) 三富智恵：新規歯根形成細胞マーカーによる歯根形成・吸収機構の解析－抗がん剤投与モデル－, 平成 22 年度科学研究費補助金応募支援プログラム経費
- 16) 富沢美恵子, 佐野富子, 鈴木 昭：歯科検診を応用した施設入所被虐待児のセルフ・エスティーム啓発プログラム. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 20592396, 2010 年.
- 17) 佐野富子：科学研究費補助金応募支援プログラム経費
- 18) 河野承子：新規歯周組織形成細胞マーカーによる歯周組織再生過程. 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B) 22792046 2010 年
- 19) 河野承子：歯牙発生におけるカルシウム結合蛋白テスカルシンの役割－テスカルシン特異抗体の作成－. 平成 22 年度新潟大学プロジェクト推進経費
- 20) 坂井幸子 (林幸子), 坂井淳, 坂本信, 早崎治明：破壊靱性値を指標とした乳歯エナメル質のバイオメカニクス的特性－永久歯との比較－. 日本学術振興会科学研究費助成金, 基盤研究 (C), 22592279, 2010 年
- 21) 坂井幸子：平成 22 年度新潟大学若手教員論文投稿支援経費, 2010 年.
- 22) 飯澤二葉子：萌出遅延歯の臨床像と被覆歯肉の遺伝子発現の調査による分子的メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 22792045, 2010 年
- 23) 沼奈津子：歯限局型低ホスファターゼ症における分子・酵素レベルでの病態解析. 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 21792065, 2010 年.
- 24) 沼奈津子：小児型低ホスファターゼ症を引き起こす原因酵素の解析. 平成 22 年度新潟大学プロジェクト推進経費.
- 25) 金城奈津子：歯限局型低ホスファターゼ症を引き起こす病態の酵素学的解析. 平成 22 年度財団法人 富徳会 研究者助成 小児歯科部門.

#### 【その他】

- 1) 早崎治明：小児の顎口腔機能でわかっていること. 日本小児歯科学会 H22 年度専門医セミナー, 福岡, 2011 年 2 月 6 日.
- 2) 大島邦子：「食べる」ことと口の健康. 平成 21 年度新潟大学 G-コード科目「新潟発『食べる』」, 新潟大学, 2010.4.23.
- 3) 大島邦子：障害者の歯磨き 理論と実践. 知的障害者更生施設太陽の村, 新潟, 2010.9.15.
- 4) 三富智恵, 大島邦子：小児がん治療がおよぼす歯の形成への影響, 日本小児歯科学会北日本地方会 ニュースレター, 26: 2- 5, 2011.
- 5) 三富智恵：乳幼児期からのむし歯予防と治療, 口蓋裂診療班第 2 回母親教室 新潟大学 2010.08.03,
- 6) 佐野富子：歯科講話. 新潟大学附属中学校, 新潟, 2010.10.26.
- 7) 佐野富子：歯科講話. 新潟大学附属小学校, 新潟, 2009.10.27.

#### 顎顔面放射線学分野

#### 【論文】

- 1) Metwaly H, Maruyama S, Cheng J, Hoshina H, Takagi R, Hayashi T, Saku T :Central Schwannoma of the mandible: report of a case and review of the literature. Oral Med Pathol 15:29-33, 2010.
- 2) Okumura N, Stegaroiu R, Nishiyama H, Kurokawa K, Kitamura E, Hayashi T, Nomura S:Finite element